

癒しのコケ 西丹沢自然教室

山の林や沢沿いを歩く時ほのかに緑の匂いを感じます。倒木や岩をおおったコケの香りでしょうか、疲れた体を癒してくれる匂いです。

思わず触れてみたくなるような柔らかな毛並みのようなコケ、緑の花のようなコケ、雨粒や朝露をつけてキラキラしているコケなど名前は分からないけどよく見るとひとつひとつ違ってきます。日当たりの良いところや沢の岩壁に冬になってもすべて枯れきることもなく緑の絨毯を作っています。

この時期は蒴(さく一胞子が入っているところ)をつけているコケが比較的多いので名前を調べやすいですが、そんなことは抜きにして、まず日差しを受けて緑に輝くコケを楽しんでみてください。(木村)

お知らせ「西丹沢ビジターセンター」へ
施設の名称が変わります。

西丹沢自然教室は、平成29年4月から「西丹沢ビジターセンター」へ名称が変わります。
名前が変わっても、これまでどおり西丹沢地域の旬の情報をお届けいたします。



タマゴケ



ヒノキゴケ



ネズミノオゴケ

【イベント案内】

秦野ビジターセンター

◆企画展「丹沢みどころ紹介 ～スタッフ山行の記録から～」

内容：四季折々の丹沢の自然の様子をのぞいてみませんか？
山行で出会った山の風景や生きものなどをご紹介します。

開催期間：平成28年12月17日(土)～3月31日(金)

*好評につき開催期間延長

場所：秦野ビジターセンター 展示室

*入館無料 開館中はいつでもご覧いただけます。

開館時間：9:00～16:30

期間中の休館日：3月21日、27日

*秦野ビジターセンターは、4月からは年末年始以外は休まず開館します。

箱根ビジターセンター

◆箱根地域自然に親しむ運動「スミレを探して春の仙石原を歩く」

内容：新緑がまぶしい箱根でいろいろな種類のスミレに出会えます。

開催日：平成29年4月22日(土)

集合：箱根ビジターセンター(9:30)

解散：箱根湿生花園(15:00予定)

募集定員：6歳以上100名

費用：保険代100円

応募締切：平成29年4月12日(水)必着

応募方法：メールまたは往復はがきにて、行事名、希望者全員の住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記載し、箱根ビジターセンターまで。

E-Mail: hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanove/>

県立西丹沢自然教室

平成29年4月から「西丹沢ビジターセンター」

〒258-0201 足柄下郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまで
お問合せください。

色とりどりの桜花 秦野ビジターセンター



オオシマザクラ

春咲く花の代名詞と言えば、桜は欠かせませんよね。桜は古くから日本人に親しまれてきたので、野生種が約9種あるのに対して、栽培品種はなんと300種以上あると言われています。その栽培品種も、主に野生種を掛け合わせて作られてきました。

丹沢に自生する野生種で、目にする機会の多い種にヤマザクラが挙げられます。4月中旬頃、赤みを帯びた若葉が開くのとほぼ同時に花が開くので、遠くからでも目につきます。生育地は山麓から標高900m付近まで広く分布します。



オオヤマザクラ

開葉と開花が同時となる桜は他に、オオシマザクラとオオヤマザクラなどがあります。オオシマザクラの花弁は白く、主に山麓に生育しています。オオヤマザクラはヤマザクラより花の色が濃く、丹沢の高標高域に分布しています。

似ているけれど異なる桜たち、今年は是非気にかけて観察してみてください。（長澤）



ヤマザクラ

足元から春がスタート 箱根ビジターセンター

箱根も短い冬があつという間に過ぎ去り、気が付けばフキノトウが顔を出す春のシーズンがやって参りました。今年も生き物に植物にと、様々な新しい発見があるかもしれません。

箱根では春になると真っ先に注目を集める花があちこちに咲き始めます。足元を注意深く見て下さい。



ヒナスミレ

スミレの仲間が咲いています。

まずは春の訪れを真っ先に教えてくれるスミレ。4月上旬頃、落ち葉をかき分けるとピンク色の小さなスミレがちょこんと咲いています。「ヒナスミレ」です。箱根ビジターセンターでは、その大きさや色合い、落ち葉に隠れる恥ずかしがり屋なたたずまいから、スミレのお姫様と呼ばせてもらっています。これを見つけると、箱根に春が来たと本格的に実感できます。

そこからはスミレの開花ラッシュ。たくさん花を付けるエイザンスミレ、道端でよく見かけるタチツボスミレ、



エイザンスミレ

大きな花を付ける箱根では珍しいサクラスミレ…等々、箱根では20種類以上のスミレの仲間が開花を始めます。あなたの中で、スミレの“推し花”は何スミレですか。

箱根では「自然に親しむ運動」という自然観察で、スミレを探すイベントを行っており、毎年、参加者抽選を行うほどの大人気イベントになっています。

（加藤）



スミレの観察会
皆、下を向いて歩きます。